

国際電話や海外からのショートメッセージ(SMS)を受信し、架空請求や高額な通話料金の請求があったという被害が発生しています。「+〇〇」から始まる電話番号は国際電話の番号です。身に覚えのない国際電話には出ず、折り返し連絡をするのもやめましょう。

【事例1】

「+1」から始まる知らない電話番号から着信があった。調べてみると、電話番号はアメリカからのものだった。念のために折り返し連絡をしたら英語の自動音声が続くだけだったため電話を切ったが、後日高額な通話料金を請求された。

【事例2】

中国(「+86」)の電話番号からSMSが届いた。「ウェブサイトの利用料金が未納となっている。今日中に支払わないと裁判になる」と書いてあり、慌てて相手に電話をした。相手の指示に従い、コンビニで電子マネーを10万円分購入し、利用番号を伝えた。その後冷静になり、海外からの電話で電子マネーを請求されるのはおかしいと思ったので、電子マネーの会社に問い合わせたが、すでに全額利用されていた。

アドバイス

○身に覚えのない国際電話に出たり、SMSに返信した



りしてはいけません。架空請求や、高額な通話料金を請求される恐れがあります。また、連絡したことで、詐欺的な勧誘のターゲットにされ、迷惑電話が多数かかってきたという事例もあります。

- 怪しい電話に出ないために、ナンバーディスプレイや留守番電話機能などを活用して、相手の電話番号や要件を確認してから電話に出る習慣を付けましょう。
- 固定電話やひかり電話で、海外との電話が不要な場合は、国際電話不取扱受付センター(☎0120-210-364)に申し込むと、海外への発信信を停止できます。
- 不安に思った場合や、トラブルになったときは消費者ホットライン(☎188)や消費生活センターに相談してください。

岡旭市消費生活センター(☎63-7272)・相談直通電話(☎62-8019)